

2017日中東北第42号

平成29年6月21日

各 位

日中東北開発協会

(一財)日中経済協会

「2017年日中経済協力会議—於吉林」参加ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は当協会の事業に対し格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日中東北開発協会、(一財)日中経済協会は、2000年から毎年、中国東北3省1自治区(遼寧省・吉林省・黒龍江省・内蒙古自治区)とともに日中経済協力会議を開催しています。本会議は、中国の東北3省1自治区政府とわが国の自治体をはじめとする両国の行政、企業、経済団体、研究機関等が一堂に会し、中国東北地方と日本の経済協力のあり方について協議し、経済交流と協力の拡大と発展を目的とするものです。16回目となる本年は、8月27日(日)～30日(水)(29日は地域産業視察)に吉林省長春市において開催する運びとなりました。

昨年来、中国政府は「東北地区等旧工業基地の全面的振興に関する若干の意見」をはじめとする積極的な振興策を次々と発表し、産業構造調整や新興産業育成等による新ラウンドの東北振興戦略の実行を本格化させています。さらに「一帯一路」構想に基づく経済交流も活発化してきました。2014年以降、市場の変化や過剰生産問題等により、経済成長率が全国平均を下回るようになっていた東北地方ですが、最近は回復の動きもみられるようになってきました。これに伴い、日本企業にとってもビジネスチャンスの拡大が期待されるところです。

今回の会議では、日中双方の代表が発言する全体会議のほか、①製造業、②農業・食品、③現代サービス業の3分科会を設置して日本企業と中国企業のマッチングを実施し、具体的な協力案件の形成を図ります。

皆様におかれましては、中国東北地方の最新情報に接し、新たなビジネス関係を築く場として、本会議をご活用いただけるものと存じます。ご多忙のところ恐縮ですが、万障お繰り合せのうえ、多数ご参加頂きますようお願い申し上げます。

敬具

(別添資料) 「2017年日中経済協力会議—於吉林」 概要

「2017年日中経済協力会議—於吉林」概要

I. 会議の概要及び日程

1. 会議概要

- (1) テーマ：新ラウンドの東北振興と日中経済協力
- (2) 開催時期：2017年8月27日(日)～30日(水) (29日は地域産業視察)
- (3) 開催地：吉林省長春市 長春香格里拉大酒店 (所在地：吉林省長春市西安大路569号)
<http://www.shangri-la.com/jp/changchun/shangrila/>
***予告でご案内した会場から変更になっております**
- (4) 主催 日本側：日中東北開発協会、(一財)日中経済協会
中国側：吉林省人民政府、遼寧省人民政府、黒龍江省人民政府、内蒙古自治区人民政府
- (5) 実施主管：吉林省経済技術合作局
- (6) 共催・後援：政府機関、経済団体、地方自治体、現地商工会等にご依頼中
- (7) 参加者：日本側 中央政府及び各地方自治体、企業、経済団体、研究機関等の各関係者
：中国側 中央政府及び吉林省、遼寧省、黒龍江省、内蒙古自治区等地方政府、
企業、経済団体、研究機関等の各関係者
(日本側約150名、中国側約250名、合計400名の参加を想定)

2. 会議構成

- (1) 全体会議
 - 1) 開幕挨拶 吉林省政府指導者
 - 2) 基調報告
中国東北各省区政府及び日本の自治体等のトップが、各地の実情を踏まえながら、日中間経済協力の実績を報告するほか、新たな計画や提案を発表します。
- (2) 分科会
3つの分科会を設置し、日中の関連企業がそれぞれの課題解決に資する具体的案件の成立に向けてビジネスマッチングを行います。
 - 1) 構成
 - ・日中両国企業各4社(予定)からのプレゼンテーション
 - ・プレゼンテーション後、マッチングリストに基づく参加者同士の面談(面談方法等詳細については後日ご案内)
 - ①製造業
近年、「中国製造2025」や「東北振興の支援に関する政策措置」等の振興策により、課題である産業競争力の全面的強化が進められています。考えられる協力分野は以下の通りです。

- ・ハイエンド機器（NC 工作機械、ロボット、溶接、レーザー通信、スマート設備等）
- ・電子情報等のハイテク産業（多結晶シリコン・単結晶シリコン・太陽電池等を主とするシリコン材料の産業チェーン建設およびレアアース新材料、バイオ製薬、電子情報）、新材料等
- ・新エネルギーの開発利用（石炭化学・非鉄金属製錬等産業の改造、クリーンエネルギーの開発利用）、送・配電設備、石油関連設備
- ・省エネルギーと環境関連
- ・自動車とその部品、鉄道車両、農機、海洋エンジニアリング
- ・医療機器、医薬品（バイオ製薬、漢方薬、化学薬等）

②農業・食品

東北地方は中国屈指の食糧生産基地であり、農業予算の拡大、農産物の品質や生産効率の向上、大規模灌漑・食糧貯蔵・物流施設の建設強化等の発展策が講じられています。考えられる協力分野は以下の通りです。

- ・農牧畜業と農畜製品の生産加工全般（先進的な農牧畜業の生産加工技術導入）
- ・食品加工業、トウモロコシ等穀物の二次加工、原料・加工・貯蔵・物流の産業チェーン、農業副産物の二次加工
- ・緑色食品（自然・無公害食品）、保健食品
- ・農業経営の規模化、農業の機械化（植物工場等）

③現代サービス業

東北地方では、サービス業の発展を通じた雇用拡大策がとられており、今後は IT、電子商取引（EC）、運輸・物流、医療・介護等の幅広い分野で市場が拡大すると見込まれます。考えられる協力分野は以下の通りです。

- ・金融サービス、物流、IT、科学技術サービス、電子商取引、展示・展覧サービス、教育
- ・ヘルスケア・介護（介護機関設立、製品の開発、地域介護・在宅介護の組織運営、IT 化の普及・応用、人材育成等）
- ・文化・観光等（ツアー商品の開発、景勝地の計画・管理、観光インフラの建設、宣伝、人材育成等）

（3）交流夕食会

（4）地域産業視察

下記のルートに分かれて、各市の産業園区、開発区、代表的企業等を視察する予定です。

- ①長春市コース ②吉林市コース

3. 会議構成・日程（予定）

日時		内容	宿泊
8月27日 (日)	午後	会議参加受付	会場と同じ
	18:00～18:30	・日中VIP会見	
	18:30～20:00	・歓迎レセプション	
8月28日 (月)	09:00～11:30	・全体会議（同時通訳） ・開会挨拶、基調報告	同上
	11:30～12:30	昼食（バイキング式）	
	13:30～17:00	・分科会 ①製造業 ②農業・食品 ③現代サービス業	
	17:30～19:00	交流夕食会（参加者全員）	
8月29日 (火)	・地域産業視察 終日	①長春市コース ②吉林市コース	同上
8月30日 (水)		各自帰国	

II. 参加要領

1. 集合場所等について

本会議は原則として現地集合、現地解散です（航空券等の手配は各自でお願い致します）。会議開催会場は以下となります。全体会議・分科会・地域産業視察など各プログラムの集合時間・場所等については、参加申込を頂いた方に、別途ご連絡させていただきます。

長春空港から長春香格里拉大酒店（復路の場合は長春香格里拉大酒店→長春空港）へのアクセスについては、下記の通り送迎バスを手配いたします。送迎バスのご利用については、ウェブサイトでご回答ください。

(1) 送迎バス

1) 往路

- ・8月27日（日） CZ624 成田空港発13:25→長春空港着15:15
(送迎バスは長春空港を16:15出発予定)
- ・8月27日（日） 14時前後に長春空港へ到着のフライト
(送迎バスは長春空港を15:00出発予定)

2) 復路（地域産業視察不参加）

- ・8月29日（火） CZ623 長春空港発08:15→成田空港着11:55
(長春香格里拉大酒店05:15出発予定)
- ・8月29日（火） 09時30分に長春空港到着予定
(送迎バスは長春香格里拉大酒店を08:30出発予定)

3) 復路（地域産業視察参加者）

- ・ 8月30日（水） CA1610 長春空港発10：50→北京空港着12：45
（送迎バスは長春香格里拉大酒店を08：30出発予定）

(2) 会議会場

長春香格里拉大酒店（シャングリラホテル）
所在地：吉林省長春市西安大路569号
TEL：86-431-8898-1818
FAX：86-431-8898-1919

2. 共通経費につきまして（会議のみご参加）

- (1) 日本よりご参加の方：50,000円
- (2) 日本よりご参加の方（地方自治体関係者）：40,000円
- (3) 中国よりご参加の方（中国現地駐在の方）：35,000円（または2,100人民元）

注1 上記金額は、参加者1名当りの参加費用です。

注2 共通経費は、日本側の本会議開催準備、運営に要する経費（定額）です。

注3 海外旅行傷害保険は、ご自身での手配をお願いします。

注4 本会議参加費は、下記7. の指定旅行社がご請求・料金徴収いたします。

3. 地域産業視察について

- ・ 地域産業視察費：12,000円（または720人民元）

注1 地域産業視察に要する交通、食事等は、一括して事務局が手配いたします。

注2 地域産業視察費には地域視察に要する交通費、食事が含まれますが、宿泊料は含まれておりません。なお、手配等の都合により日程、金額が変更になる可能性もありますので、予めご了承ください。

4. 長春香格里拉大酒店宿泊予約について

会議会場の長春香格里拉大酒店に宿泊を希望される方は、下記の指定旅行社がホテル予約等を担当しますので、会議参加申し込みの際に下記の専用ウェブサイトからお申込み下さい。

お部屋タイプと宿泊料金（本会議特別価格）は下記の通りです。本料金には税、サービス料、朝食代を含みますが、個人が利用した電話代、ランドリー代、飲食代等個人費用は含まれておりません。

①スタンダードルーム（36㎡） 600元

②エグゼクティブルーム（72㎡） 2,000元

注1 部屋数には限りがありますので、ご要望に添えない場合もございます。

注2 日本円への転換レートは請求時の指定旅行社レートが適用されます。

5. 参加申込、ご要望事項

ご参加の申込は、**6月28(水)～7月31日(月)までに**、下記専用ウェブサイトより、お手続きください。締切日後のお申込はお受けできない場合もございますので、期日厳守にてお願いいたします。

ご参加にあたってのご希望・ご要望につきましては、下記サイトの通信欄にご遠慮なくご記入ください。また、**ご変更につきましては、必ず本専用ウェブサイトより**、ご訂正下さいますようお願いいたします。

専用ウェブサイトアドレス：<https://jcpage.jp/jcevent/op/161>

6. 分科会について

参加お申込の際に、3分科会（①製造業、②農業・食品、③現代サービス業）のうち、いずれかをお選びください。

(1) 事前準備

- 1) 申込受付後に、事務局から企業組織等の概要・技術等をご紹介するためのマッチングシートを送付いたします。
- 2) 同シートにご記入のうえ、事務局にご返送ください。
- 3) ご回答いただいたシートは、日本側マッチングリストとして取りまとめ、中国側に提示します。
- 4) 中国側リストと突き合わせ、当日の面談ができるように調整いたします。
- 5) 同シートにて分科会でのプレゼンテーションのご意向を確認させていただきます。

(2) 分科会でのプレゼンテーションについて

- 1) 分科会発言者については、参加申込をされた方の中から、中国側と協議のうえ、事務局から個別にご依頼申し上げる形とさせていただきます。発言につきましては逐語通訳を含め10分以内で、企業のご紹介をしていただきたいと思います。
- 2) プレゼンテーションの際には、パワーポイントなど発表用資料を作成いただくこともございますので、予めご了承ください。

7. 宿泊料・会議参加費支払方法

宿泊料・会議参加費は、下記の指定旅行社が請求・料金徴収を行いますので、指定口座へのお振込をお願いいたします。支払につきましては日本円・中国元をお選びいただくことが出来ますが、中国元での支払は中国からの参加者が対象となります。宿泊料の日本円への換算レートは指定旅行社オフィシャルレートが適用されます。

また、本団便、その他フライト手配も承ります。

(1) 日本円でのお支払

日中平和観光株式会社 東京支店

担当者：桜井

TEL：03-5822-3505

FAX：03-5822-3514

所在地：〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-7-1 国際東日本橋ビル2F

(2) 中国元でのお支払（日本からの参加者はお選びいただけません）

中青旅国際旅游有限公司 亜洲部

TEL:010-58156149

FAX:010-58158927

所在地:〒100007 北京東城区東直門南大街5号 中青旅大厦

8. 自己手配の場合

航空券やホテル等を指定旅行社経由でなく自己手配される方につきましても、搭乗される便名、日時、宿泊先等を**必ず本専用ウェブサイトを通じて**ご連絡ください。

9. 個人情報の利用について

参加申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、参加者名簿、会議資料の作成や会議に参加いただくためのご案内の送付など会議開催にかかる用務以外の目的では使用いたしません(ご記入いただいた「御名前」、「企業・団体名」および「部署名」「御役職」は参加者名簿の基本データとなり、会議参加者に配布する予定です)。

10. お問い合わせ先

日中東北開発協会 今村・井上

TEL:03-5226-2230

E-mail:jcnda@jc-web.or.jp

〒102-0071 東京都千代田区富士見1-1-8 千代田富士見ビル2階

以上